

療育教室から発信

エイビイシー
ひまわり教室
社会福祉法人杉の子会

はっぴい新聞

児童発達支援 放課後等デイサービス

6月号
2024 vol.51

児童発達支援

みなさまこんにちは。ジメジメした雨の日も増えてきましたが、気持ちは明るくお過ごしでしょうか？今日はペープサートのお話です。ひまわり教室では支援の導入として、ペープサートを使って歌を歌ったり、小さい劇を見てもらったりします。



座って少しの間、お話を聞くことが難しいお子さんでも、視覚的に興味をもてるペープサートが登場すると、目をキラキラさせながらお話に集中することが出来たりします。

できるだけ楽しい雰囲気の中でペープサートを使い、歌を歌ったりお話をします。そしてお子さんが最後まで着座してお話を聞けたら、必ず「座って最後まで聞けたね!」とお子さんを褒めてあげます。



6月が歯の衛生月間と言うこともあり、この日は歯みがきの小さな劇を行いました。

**おいしそうなアイスだね。「おいしい、おいしい。」
お子さんに食べさせてもらいます。**



「歯をみがかないで寝たら、歯が真っ黒になっちゃったよ!」



**「歯みがきしてあげよう!」
お子さんに歯ブラシで磨いてもらいます。
「わあ、歯をみがいてピカピカになったね!」**

お子さんが少しでも楽しい気持ちで積極的にひまわり教室での活動に取り組めるよう、これからもいろいろなアプローチの仕方を考え、工夫していきたいと思っています。



Instagram



You Tube

<https://abc24.jp>

放課後等デイサービス

／ SSTでは、「衛生・身だしなみ・健康管理」について学びました。／

手洗い

「バイ菌が残りやすいのは手のどの部分？」ほぼ全員が正解していました。バイ菌に見立てたスタンプを押してもらい「良い洗い方」を復習しました。水だけで洗った手で触ったパンに発生したカビの写真を見ると「う～わっ!」と怪訝な表情になりつつも、石鹸で洗う大切さを再確認できました。



体調不良の伝え方

頭痛や腹痛などの体験を話してもらい、「どのような痛み」があるのかについてみんなで考えました。「ズキズキ」「キーン」「ガーン」「ズーン」「トイレに行きたい感じ」「ワーって叫びたい感じ」等々の発言があり、いろいろな表現を共有しました。イラストを用いて、何をしていたときに身体のどの部分にケガをしたのかをイメージして、ケガの伝え方の練習もしました。その他には、身だしなみと印象について話し合う。生活リズムチェックシートを用いて食事や睡眠について振り返る、等の活動も行いました。



／ 工作では完成後にお友達と一緒に遊べるものを作りました。／

パラシュート



パラシュートの傘の部分はビニル袋を30cm四方に切ったものを、重りにはトイレトペーパーの芯を短く切ったものを使用しました。傘にペンで絵を描くには反対の手でしっかり抑え、ゆっくり丁寧にペンを動かす必要があります。30cmのタコ糸4本を傘の四隅にテープで貼り付けることも、向きを考えながら丁寧に進めます。完成すると、傘がきれいに開く投げ方を何度も試したり、床の的を狙って何点ゲットできるかを競い合ったりしながら楽しむ様子が見られました。

バランスタワー

5cm角の厚紙に絵を描いて中央に1箇所のみ切り込みを入れ、好きな絵や好みの色で模様を描きます。2枚、3枚を組み合わせて「+」「△」などの形に組んでパーツを作っていきます。完成後は持ち寄って、倒さないように高く積み上げていくゲームをしました。バランスを考えて緊張しながらタワーを作っていくのは楽しいものです。祝日の関係で残念ながら参加できないお子さんもいましたが、身近な材料で手軽にできますので、おうちでもお試しになってみてください。



子育てハート便



指導員 岸川

この3月から児童発達支援に勤務しております。子どもは3人おり、2月に長男が結婚しました。その長男も幼稚園時代は行き渡る毎日、普通に行けるまでに一年半を要しました。当時の担任の先生が園長先生になり、長男を保育した経験は今にかかれていますとお話いただきました。辛い思い出

も良い思い出になりました。はじめての子育て、主人の赴任先での不安な育児に私自身も先生方の寄り添いに救われた時代でした。今はお会いするみなさまに、私の経験が一助になればとの思いです。至らぬことが多々あると思いますが、これからよろしくお願ひいたします。

WISC-IV 知能検査

得意を伸ばして
自信をつける



対象：5歳～16歳11ヶ月
料金：5,000円
公認心理師：金井